学校番号	413

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術Ⅰ（文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

感じ取ったことを表現するための技能をきっちりと身につける「絵画，彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、版画の作品をカレンダーにして、展示発表することによって他の人の作品をみとめあう「鑑賞」等学習します。一人ひとり、見方、感じ方が違います。自分なりの感じ方、見方、表現を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

中学までに学んだ美術の土台の上に、高校生としての美術の幅広い活動を通して美術を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化について理解を深める

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 他の人の作品もよく鑑賞する。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術ってなに(P2～P5)	・オリエンテーション 教科書、先輩の作品等を鑑賞し、多様な表現形式について学び美術Ⅰについてイメージを持つ	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:美術作品のよさや美しさを感じ取り文化について、理解を深めている c:クロッキーの目的を理解し鉛筆の特性を生かして表現している d:美術作品のよさや美しさを感じ取り文化について、理解を深めている	・学習活動の様子 ・作品
		・クロッキー	○	○	○			
	鉛筆デッサン(128～131)	「鉛筆デッサン」 ①エンピツデッサンの基礎 ・エンピツの削り方 ・ケシゴムの使い方 ・エンピツの使い方	○		○		a:すべての基礎となるエンピツデッサンに関心を持ち、これからの学習に意欲をもつ。手とつるを描き分けるために関心を持ち、創作活動に取り組もうとする。 b:単に二つの物を描くのではなく、想像力を働かせて作品として構成している c:エンピツの使い方、使い分け表現の方法を学んでいる。二つのものをきっちりと描きわけ、表現方法を工夫している	・制作の様子 ・作品
		②「手とつる」を描く 素材の違いを描き分ける	○	○	○			
	植物を描く(10~11)(132～133)	「花を描く」 水彩色エンピツを使用して、花を描く	○			○	a:花を描くために関心を持ち、形、構成など工夫し、表現しようとする b:画面の中に花をいかにインパクトがあるように、構成・表現するか考えている c:水彩色エンピツの特性を理解してよく観察表現している d:自分の作品だけでなく他の人の作品もよく鑑賞する	・制作の様子 ・作品
		◎水彩色のエンピツの使い方	○		○			
		◎花を見て描きましょう	○	○	○			
		・鑑賞会				○		

夏休み宿題	鑑賞する	「高校美術展」を見て感想を書く				○	d:同年代の他、高校の生徒作品を見ることによって、より美術に関心を持って理解を深める	ワークシート
2学期	カレンダーをつくろう(30～35)(36～37)	「凸版画」を利用してカレンダーをつくる	○			○	a:版画について学んでカレンダー制作についてイメージを持ち、作品に取り組む意欲をもつ b:カレンダーとして 1 年間見るデザイン、形、色など工夫して表現の構想を練っている c:彫刻刀の適正な使い方、版の作り方・刷り方、裏彩色するセンス等表現方法・技能など工夫・習得している d:カレンダーとして 1 年間見続けるにふさわしい作品なのか、他の友達の作品を見ることによって理解を深める	・スケッチ ・制作の様子 ・作品(版木、刷り、彩色面)
		◎版画について基本 4 種類の版画について学びます	○			○		
		①版をつくる ・下絵をきっちりと描く ・トレーシングペーパーにうつし版木にうつしとる	○	○	○			
		②彫る	○		○			
		③刷る	○		○			
		④刷り終わった版画に裏から水彩画で彩色する	○	○	○			
		⑤カレンダーに作品をはって完成				○		
		◎相互鑑賞 ・クラスでの発表 ・校内での展示				○		

3学期	想像を形に(24～25) ポスターで伝える	「モダンテクニックを学ぶ」 ・教科書、先輩の作品等から作品の鑑賞	○			○	a:モダンテクニックが生まれてきた近代絵画に関心を持ち自分の作品づくりに利用して取り組む意欲 c:創造的な表現をするために必要な技能習得 d:教科書や近代画家を学び内に秘めた思いとかをいかに表現するか鑑賞を通して学ぶ	ワークシート 制作の様子 作品
		・フロッタージュ マーグリング スパックリング etc の技法をためす	○		○			
		モダンテクニックを利用して「ポスターを作る」 テーマ 『好き！』『嫌い』『大切に』『ありがとう』 この四つから一つを選んでポスターをつくる	○				a:ﾃｰﾏを基に自分の内面を見つめて表現することに主体的に取り組む b:ﾃｰﾏを基に感性や想像力を働かせて表現方法の特性を生かして、色彩、構成、文字などを工夫して創造的な表現の構想を練っている c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫して主題を追及して表現している d:他の生徒の作品のよさや美しさ、意図と表現の工夫などを感じ取り作品などに理解を深めている	アイデア、スケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞 ワーク
		・選んだテーマをもとに構想を練る	○	○				
		・構想をもとに意図に合う表現技法を工夫する	○	○	○			
		・相互鑑賞 ・クラスでの発表 ・6 月の文化祭に展示	○			○		

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。